

編集後記

第48回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会が本県で開催されることになり、その取り組みも、県内5ブロックが各分野の内容を分担して研究進めていくことになりました。即ち、「全県分散方式」により、本教科の全県的なレベルアップを目指し、組織的に研究を進めていくことになりました。

この「研究実践の基本構想」は、今後の研究実践に向けての手がかりをつかむために作成されたものです。これをもとに、各学校毎の研究とブロック及び郡市や市町村単位での研究を一体化し、組織的に研究を深めていただきたいと思います。

編集委員

研究企画部	寺門 靖郎	宮田 律子	高安 一徳	福田 雅美
	若杉 悠治	緑川 敏江	菅谷 喜幸	住谷 典子
	吉田 吉美	横山 良子	三谷 定幸	鈴木 勝久